



志布志高校が挨拶日本一宣言！

校内外や家庭で元気よく日本一のあいさつすることで、地域を明るく、活性化することを誓いました。

4月24日のしぶしの日に、全校生徒が参加して宣言式が行われました。生徒を代表して生徒会長の竹之下夏希さん（3年）が宣言文を読み上げ、決意表明しました。竹之下さんは「あいさつで学校や地域を盛り上げ、志布志高校に入学する人を増やしたい」と今後の活動に意欲を見せました。

平和について学習しました

有明中学校の2年生が、長崎への修学旅行の前に、戦争の体験談を聞き、平和について学習しました。

5月2日、同中学校図書室において、戦争体験を語り継ぐ活動をしている淑女会の皆さんが、戦争の悲惨な状況や当時の生活を紙芝居などを使ってわかりやすく話しました。平和の大切さを学習した生徒は「これからは私たちが戦争を止めるという意思を持っていきます」と話しました。



土地家屋調査士が災害時に支援

災害時における住家被害認定調査等の支援に関する協定を締結しました。

4月14日、市役所本庁において鹿児島県土地家屋調査士会、公益社団法人鹿児島県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、市による協定調印式が行われました。今回の協定により、災害時の住家被害認定調査に土地家屋調査士が協力します。また、建物損壊、土地境界標の滅失等に係る登記や境界に関する相談窓口の開設、市公有財産の施設に関する筆界点情報の収集及び復元なども行います。これにより、応急復旧等の迅速化が図られ、災害時における住家被害等に関する相談体制が確保され、市民の迅速かつ円滑な生活再建につながることが期待されます。

また、鹿児島県土地家屋調査士会から土地家屋調査士が日頃の業務で使用する土地の境界標識（金属釘）などを小学生の目線で観察し作成された絵本「じめんのボタンのナゾ」が市内の小中学校の図書館に贈られました。



上手に歯みがき！
むし歯も処置歯も
無かった子どもたちです！
21ページにも掲載しています。ご覧ください

ひな
陽菜 ちゃん

さい
絆生 ちゃん

ゆりお
友梨音 ちゃん

ゆめが
夢姫 ちゃん

かずは
一葉 ちゃん

りょうま
綾真 ちゃん

みなと
湊斗 ちゃん

ゆうと
優斗 ちゃん

おうしろう
旺志郎 ちゃん

りゅうしろう
龍司郎 ちゃん

こはる
心晴 ちゃん



新1年生の安全のために

志布志地区金融機関防犯協議会から新入学児童に対して防犯ブチタオルが寄贈されました。

4月19日、同会の内野朋昭会長が教育長室を訪れ、市内の小学校新1年生309人に、犯罪に巻き込まれないための約束事がデザインされた防犯ブチタオルを寄贈しました。同会では、子どもたちが安全な学校生活を送れるよう平成25年から防犯教材を寄贈しています。

米づくりを1から学びます

米がどのように作られるかを学習するため、有明小学校の5年生が総合学習の時間に田植えを体験しました。

4月21日、同小学校近くの地域の方が準備した体験用の田んぼで田植えが行われました。地域の方の指導の元、児童と先生、保護者も一緒に稲の苗を手で植えました。初めて田植えをしたという児童は「田んぼの泥がヌメヌメしていて、まっすぐ植えるのは難しかった」と感想を話しました。

